

DIGITABLE 第 105 回勉強会レポート

2017年5月20日 於：森下文化センター 第一研修室



撮影基礎講座①ライティングの基本

Photoshop 研究講座「MOUNT ADAPTER」：平野正志講師
希望者による“ライトニングトーク”
「撮影基礎講座①ライティングの基本」：高木大輔講師

DIGITABLE 写真技術研究会 (HOME) <http://www.digitable.info>

Digitable 研究講座「MOUNT ADAPTER」

：平野正志講師

■マウントアダプター

フィルムカメラ時代のレンズが起こされており、現在使用中のデジタルカメラにマウントアダプターを介して取り付けてみる。ソニーの NEX7 も α 7 II もマウントは同じ E マウントなので、一つのマウントアダプターで利用できる。

■ミラーレスカメラ

フレズバックが短い分、古いフィルムカメラをアダプターを介して使用するにはうってつけで、右の3種のアダプターを用意する。

使った感想は、正確なピント合わせには一苦労だという感想。他社レンズであるのでボデーとフォーカスなどの連携はしない、もともと AF の機能がレンズにないのだから仕方ない。ボデー側でマニュアルピントで拡大表示などで合わせられるのはありがたい機能と感じる。

■ M マウントの VOIGTLANDER/COLOR-SKOPAR・21 ミリ f4 を使用したとき周辺部に減光のためかマゼンタかぶりが出ることに気が付く。しかしフルサイズでより APS- c のほうにより顕著に現象が出てくるのが腑に落ちない。

イメージサークルのイメージ図の通り、より中心部を使用する APS- c レンズのほうが周辺光量減の影響は少ないはずなのだが・・・。

結局、単に周辺光量落ちというだけでなく、加えて CCD 設定とレンズ設計がマッチしないということかとも思われるが。



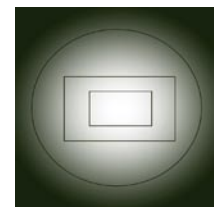
テスト撮影で用意したレンズは、SUPER-EBC FUJINON 30 ミリ(フジ tx1 用)、M-ROKKOR 28 ミリ(ミノルタ clc 用) その他。



マウントアダプターは E マウント用 3 種 kipun adapter ringn/g - nex ニコン用、xpan-nex フジ用、kenko m mount adapter ミノルタ / ライカ用



イメージサークルだけの問題ではなくフィルム時代とデジタルのレンズ設計の問題か？



参加者全員による“ライトニングトーク”

IH 会員：小金井街歩き MAP。10 コース紹介

SY 会員：SNS ツイッター

EY 会員：自宅改造キッチンスタジオ。8 月オープン

NY 会員：4 月最終日曜日の「世界ピンホールデー」

ST 会員：タイ旅行の作品発表（お抱え運転手付き）

YM 会員：チェキによる小品発表

MM 会員：横須賀撮影会での作品発表

TN 会員：切子硝子の作品撮影に TRY。「残留応力」

MH さん：チワワの作品発表

TM さん：写真家独立一年の近況報告

…etc.



撮影技術講座_1

ライティングの基本

高木大輔講師

■ライティングで写真や映像は全く変わる

撮影とは、文字通り「影」を「撮る」ことだ。人物はもちろん、風景や商品写真でも、その写真に写った光や影の強さ、濃淡で人物や風景、商品の印象を想像し、写真の好き嫌いも判断していると言ってよい。

■基本的なライティング

6つのキーライトのうち、基本的な3パターンを見ていこう。プレーンライトは斜め45度付近からのライトで、ある程度の立体感も得られるポートレートライトの基本だ。

サイドライトは、被写体の立体感や質感得やすく、写真に切れが出るため、商品撮影などにはよく用いられる。シャドウ側をレフで起こしたり、抑えの補助ライトを用いる場合が多い。

続いてやや特殊なライティング、立体的な表現や、表情やポーズなど、作品の主張が活かせるライティングでもある。

また実はスタジオ以外での室内や屋外でのポートレート撮影にも、実は応用性が高い。

レンブラントライトは「半逆光」として、モデルさんの印象を際立たせるライティングの基本となるし、トップライトは晴天下の日中撮影の典型的な光線でもある。

■ライティングの小道具

ライティングの基本となるキーライトが分かったところで、スタジオを出て、室内や屋外でのライティングを意識した撮影を始めてみよう。今月は最低限の小道具を使用することにしたい。

小型で気軽に持ち運べるレフ板と（よく似た）デュフューザー、補助光源の第一歩としてカメラに内蔵されているストロボ、及びそれに使用する小型のデュフューザーだ。

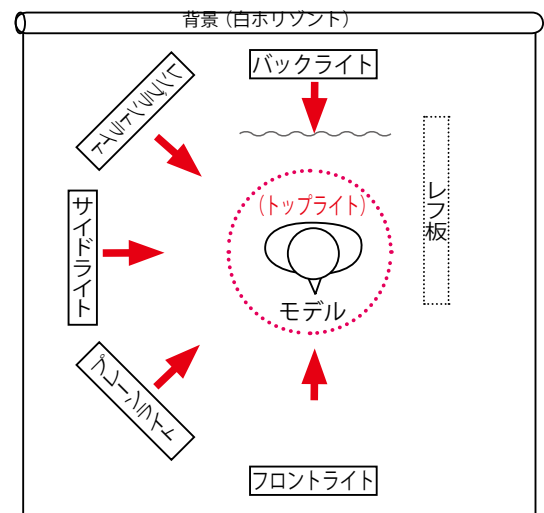
■ライティングの実際（まとめ）

本日の講義のまとめ、その1はちょっと意地悪くテストしてみた。これまで使用したスタジオでのライティングパターンを、あえてランダムに配置してみたが10種類のパターンが全て正解できるだろうか？ライティングによって次第にコントラストが上がり、顔の印象もずぶん変わっていくのが分かるだろうか。

人物撮影ライティングのキーポイントは「鼻筋」に光が通ることによって、その人物の印象が決定的に変わってくるのだ。



ライティングで写真や映像は全く変わる



キーライトの概念図



ライティングによって次第にコントラストが上がり、顔の印象もずぶん変わっていくのが分かるだろう

DIGITABLE 写真技術勉強会 不許複製 (C) Digtale.info. 20170520 All Rights Reserved
